

資料 1



第21回 長岡京市地域公共交通会議

令和2年12月24日（木）午前10時00分～

長岡京市役所 大会議室A

かしこ暮らしっく
長岡京

アウトライン

- はっぴいバスの利用実績
- 東部バスの利用実績
- 東部バスの評価指標の変更について

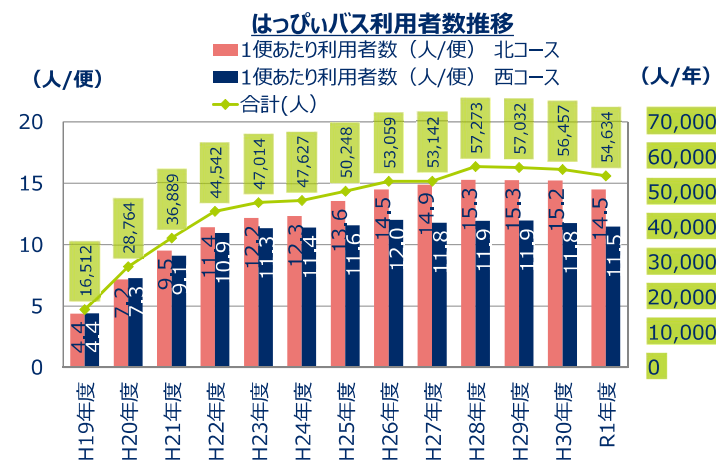
2

アウトライン

● はっぴいバスの利用実績

- 東部バスの利用実績
- 東部バスの評価指標の変更について

利用者数



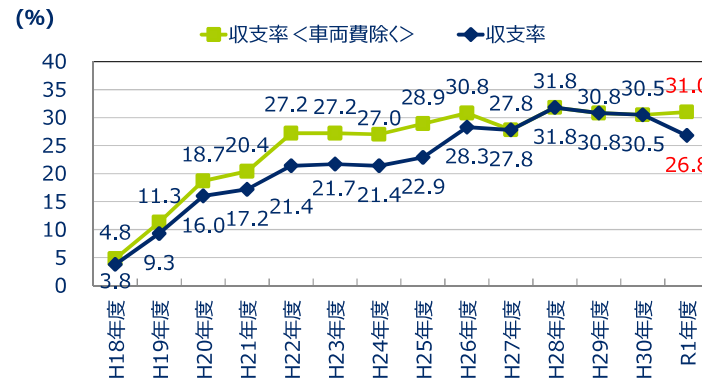
○H28年度以降、両コースとも微減傾向。

3

4

収支状況

はっぴいバス収支率遷移

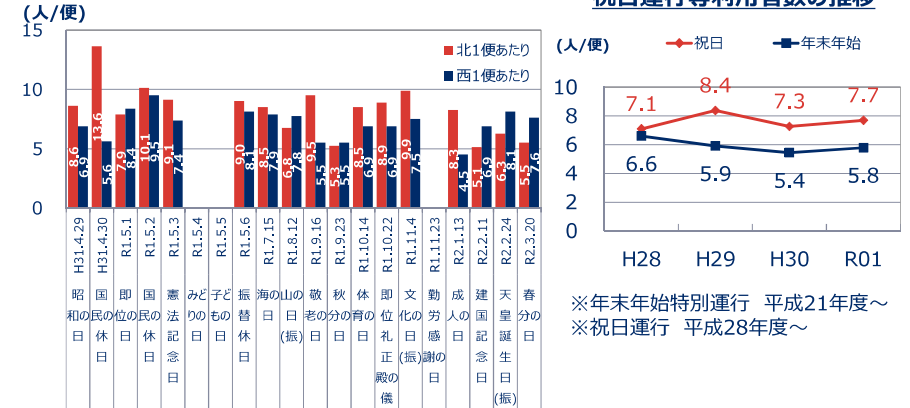


○R1年度より車両費がかかるため、収支率は悪化。しかし、令和元年5月の運賃改定（150円→170円）により、車両費を除いた収支率は0.5ポイント改善している。

5

多様な世代の外出支援【祝日運行】

令和元年度 祝日運行まとめ（7.7人/便）



※年末年始特別運行 平成21年度～
※祝日運行 平成28年度～

○平成28年度から祝日運行を行っているが、平日と比較すると大幅に少ない状況。→車内広告等で更なる周知を図る。

6

<参考> はっぴいバスの事業指標

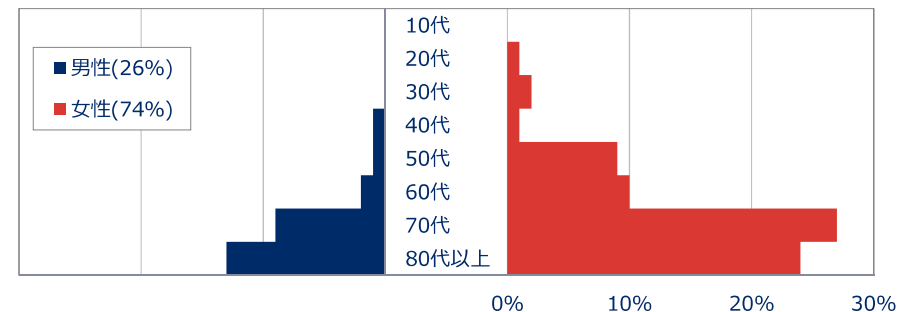
項目	指標	備考
事業の目的	公共交通空白地域の解消	
	多様な世代の外出支援	乗込み調査、祝日運行等
利用状況	利用状況（北コース）	1便あたりの乗車人員 15.0（人/便）
	利用状況（西コース）	1便あたりの乗車人員 15.0（人/便）
<参考指標> 収支状況	収支率（全体）	前年度収支率と比較して改善されたか

7

<参考> 多様な世代の外出支援 （令和元年度アンケート結果から）

- 例年、はっぴいバス利用者にアンケートを実施
- ・回答者：100人（各コース50人ずつ）

乗車客属性



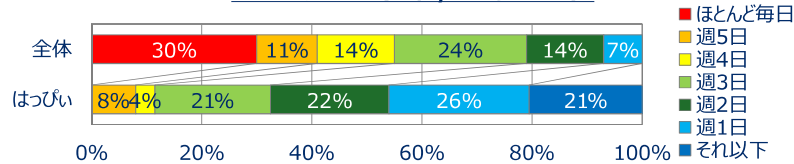
○回答者は女性のほうが多く、60歳以上の方が85%を占める。

8

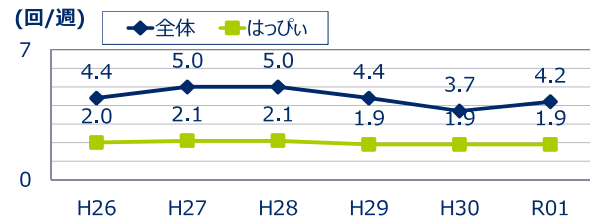
＜参考＞多様な世代の外出支援 (令和元年度アンケート結果から)



お出かけ頻度（全体/はっぴいバス）



お出かけ頻度遷移



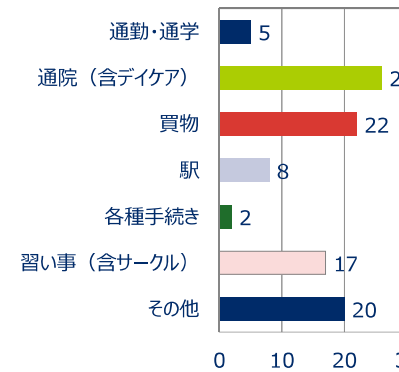
○お出かけ頻度はH30年度よりも多く4.2（回/週）、はっぴいバス利用回数は1.9（回/週）で例年同等であった。

9

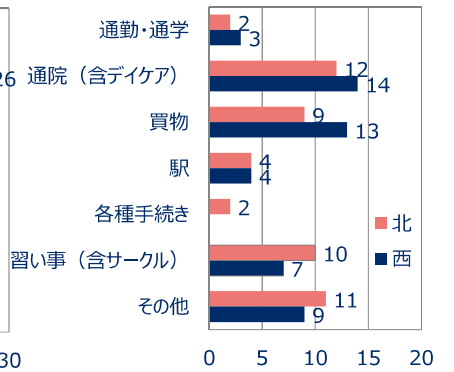
＜参考＞多様な世代の外出支援 (令和元年度アンケート結果から)



利用目的(SA)



利用目的【コース別】



○「通院」と「買物」が約1/4で最も多く、「習い事」「その他（光明寺が多かった）」と続いている。

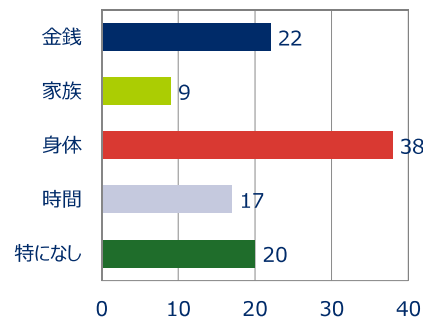
○コース別では有意な差は見られない。

10

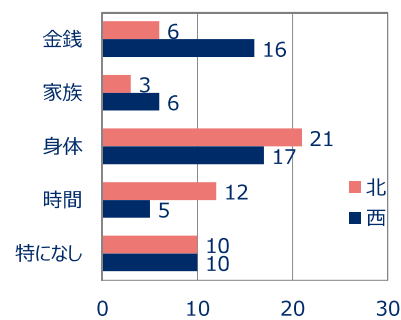
＜参考＞多様な世代の外出支援 (令和元年度アンケート結果から)



負担種別(n=100,MA106)



負担種別【コース別】



○はっぴいバスが無くなった場合の負担として、「身体」が最も多く、次いで「金銭」となっている。

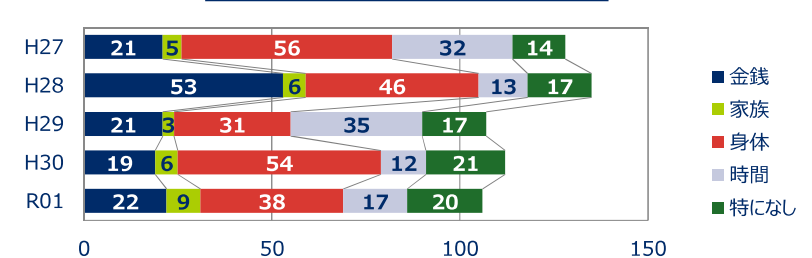
○西コースで「金銭」が、北コースでは「時間」がそれぞれ他のコースよりも多くなっている。

11

＜参考＞多様な世代の外出支援 (令和元年度アンケート結果から)



はっぴいバスが無くなった場合の負担遷移



○例年、はっぴいバスが無くなった場合の負担について聞いているが、H28で「金銭」が非常に多い、H27,29で「時間」が多い、H29で「身体」が少ないなど、年度によってバラつきがある。

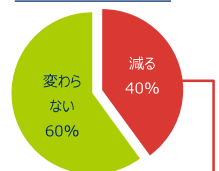
○H30年度は夏季にアンケートを実施したため「身体」を挙げた利用者が多かったが、R01年度は少なくなっている。

12

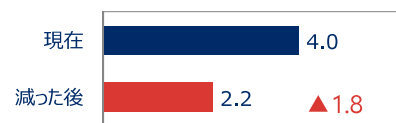
<参考> 多様な世代の外出支援 (令和元年度アンケート結果から)



お出かけの変化

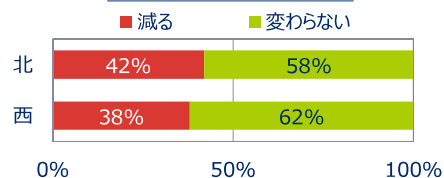


お出かけ回数の変化

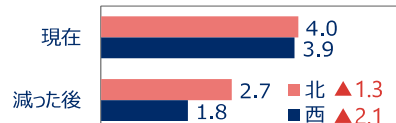


(回/週)

お出かけの変化【コース別】



お出かけ回数の変化【コース別】



(回/週)

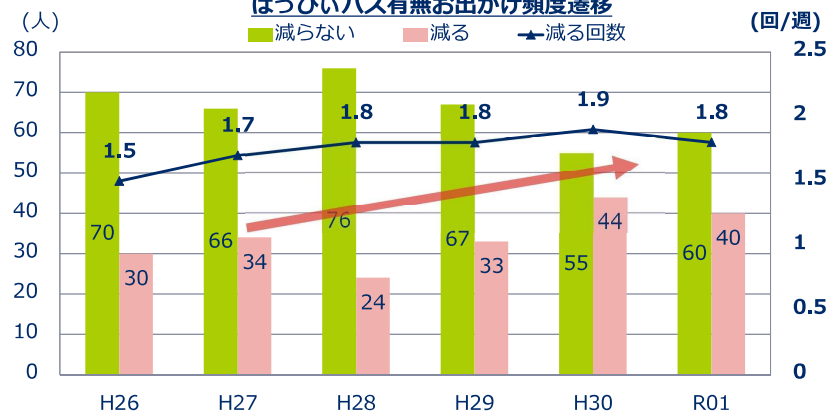
○ 4割の方がはっぴいバスが無くなった場合にお出かけ回数が減ると答えており、西コースのほうが減る回数が多かった。

13

<参考> 多様な世代の外出支援 (令和元年度アンケート結果から)



はっぴいバス有無お出かけ頻度遷移



○ はっぴいバスが無くなった場合、週に約2回お出かけが減る。

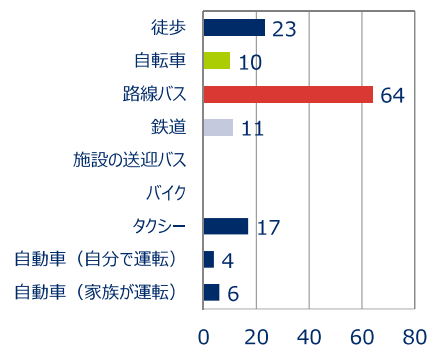
○ お出かけ回数が減ると回答した割合は増加傾向にある。

14

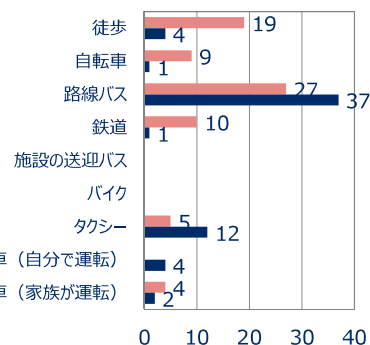
<参考> 多様な世代の外出支援 (令和元年度アンケート結果から)



代替手段 (n=100, MA135)



代替手段【コース別】



○ 代替手段として6割以上の方が「路線バス」を挙げており、西コースで特に多い。

○ 一方で、北コースでは「徒歩」「自転車」の割合が多くなっている。

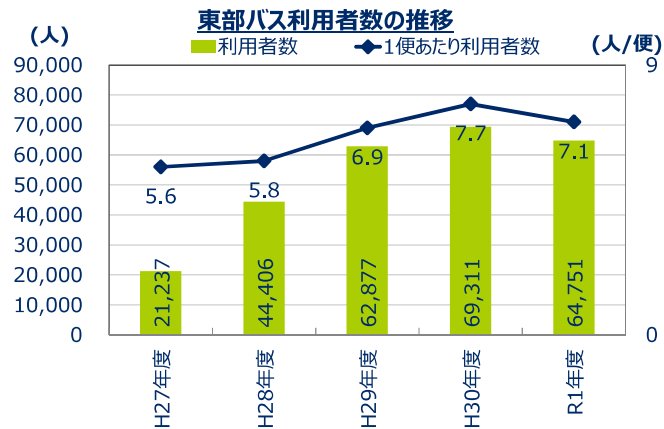
15

アウトライン

- はっぴいバスの利用実績
- 東部バスの利用実績
- 東部バスの評価指標の変更について

16

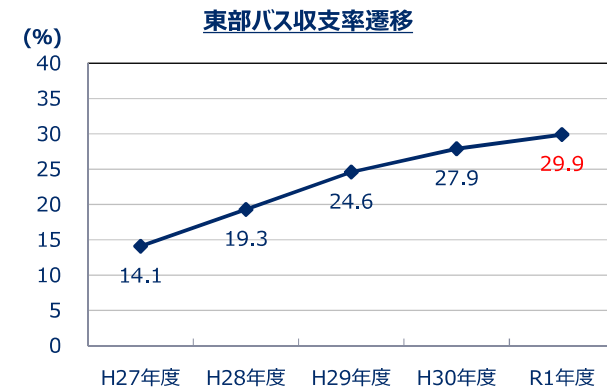
利用実績



○H27年の運行開始以降利用者数は上昇傾向だったが、初めて減少した。

17

収支状況

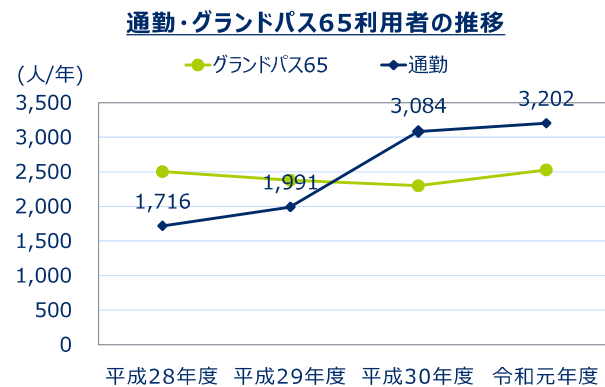


○利用者数は減少しているが、運賃改定により収支率は改善している。

○はっぴいバスと同程度の収支率である。

18

通勤定期利用者数



○ルート変更（平成28年8月～）等により東部バスが定着したのか、通勤利用者数は増加傾向にある。

19

<参考> 東部バスの事業指標

項目	指標	備考
事業の目的	通勤定期利用者数	
	多様な世代の外出支援	乗込み調査
利用状況	利用状況	総利用者数
<参考指標> 収支状況	収支率	前年度収支率と比較して改善されたか

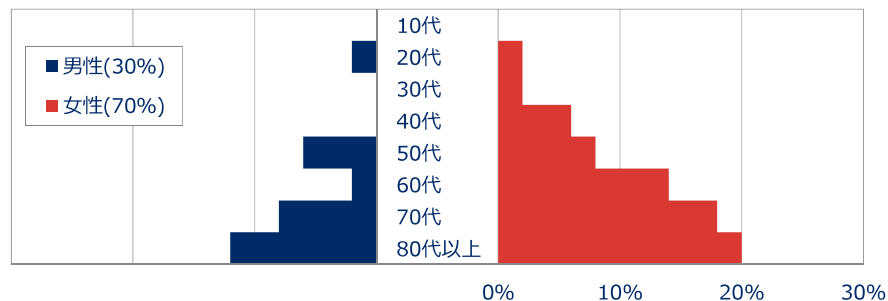
20

<参考> 多様な世代の外出支援 (令和元年度アンケート結果から)



- 例年、東部バス利用者にアンケートを実施（通勤時間帯を除く）
- ・回答者：50人（城の里循環28人、東和苑循環22人）

乗車客属性



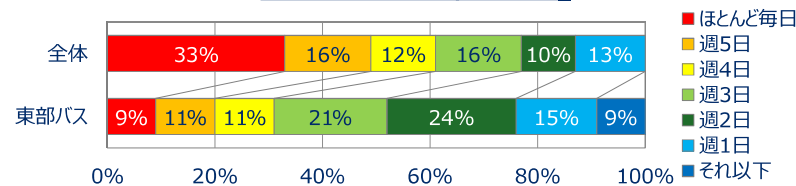
○回答者は女性のほうが多く、60歳以上の方が74%を占める。

21

<参考> 多様な世代の外出支援 (令和元年度アンケート結果から)



お出かけ頻度【全体/東部バス】



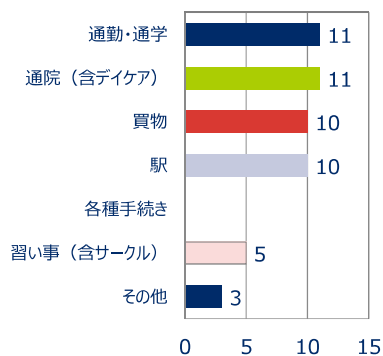
○お出かけ頻度4.4（回/週）に対して東部バス利用回数は2.9（回/週）であり、お出かけの2/3はバスを利用している。

22

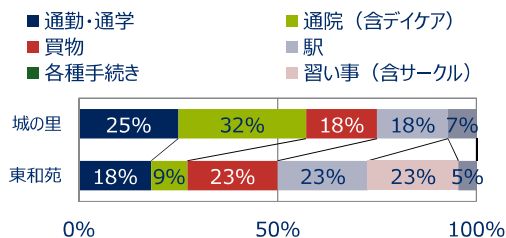
<参考> 多様な世代の外出支援 (令和元年度アンケート結果から)



利用目的



利用目的【循環別】



○通勤・通学、通院、買い物、駅の利用が多い。

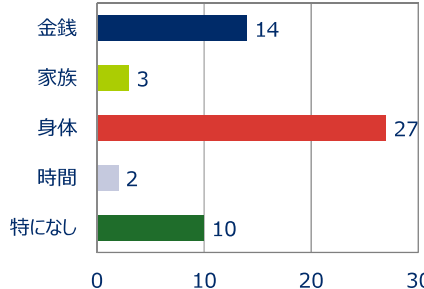
○城の里循環で通院が多く、東和苑循環で習い事が多くなっている。

23

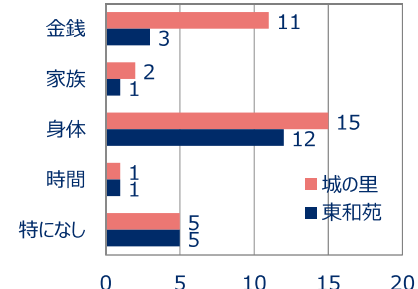
<参考> 多様な世代の外出支援 (令和元年度アンケート結果から)



負担種別(n=50,MA56)



負担種別【循環別】

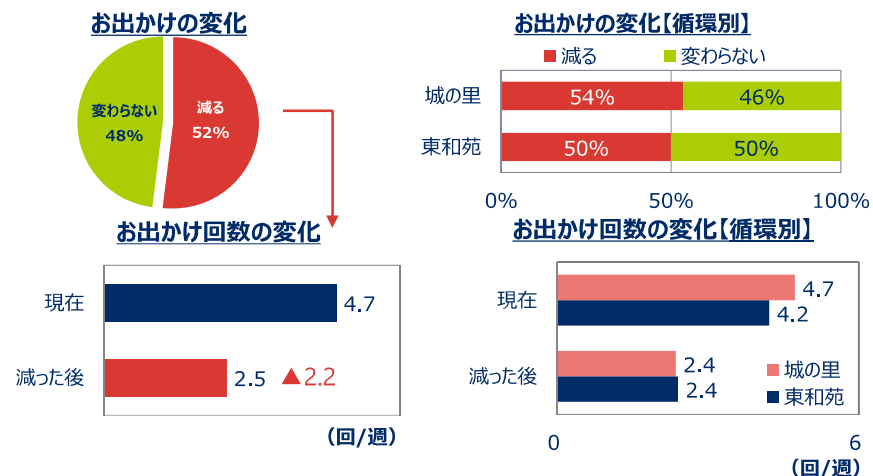


○東部バスがなくなった場合の負担として、「身体」が最も多く、次いで「金銭」となっている。

○特に城の里循環で「金銭」の回答が多いが、東和苑循環よりも駅から遠く、移動に徒歩や自転車ではなくタクシーを選択する方が多いと推察される。

24

<参考> 多様な世代の外出支援 (令和元年度アンケート結果から)



○5割の方が東部バスが無くなった場合にお出かけ回数が減少する。

○循環別では有意な差は見られない。

25

アウトライン

● はっぴいバスの利用実績

● 東部バスの利用実績

● 東部バスの評価指標の変更について

26

東部バスの評価指標



新たな評価指標（案）

項目	指標	備考
事業の目的	通勤定期利用者数	
	多様な世代の外出支援	乗込み調査
利用状況	利用状況	1便あたりの乗車人員
<参考指標> 収支状況	収支率	前年度収支率と比較して改善されたか

令和2年度より、運転手の負担軽減の目的で利用者数のカウントを「4月、7月、10月、1月の第2月曜日から7日間」としたため。

27